

## 1. 概要

公益財団法人として4年度を迎え、従来からの牛乳博物館の事業運営に対して、公益法人としての活動を強化するため、下記のように事業を実施した。

## 2. 事業活動

## (1). 牛乳博物館の運営

本年度の当館の来館者は4,870人(団体2,666人・学校567人・一般1,637人)でした。特に近年は学識者のご来館も目立つようになったこともあり、入館記録を作成し来館目的の分析をおこない陳列及び説明・解説の方法について検討をした。

## (2). 酪農乳業文化資産の公開・収集・分析

## 1) 資産公開 貸出・取材・紹介の掲載

- ① NHKテレビ番組「所さん！大変ですよ」で牛乳博物館所蔵品が紹介されました。(8月)  
戦時中にビール瓶の粉碎を原料にした黒褐色の牛乳瓶が使われていた事実を「戦時中の悲劇」として紹介された。  
戦時中にはガラス瓶の資材不足の為、一部でやむを得ずビール瓶の褐色雑瓶を粉碎した原料が使用され、一部メーカーで黒褐色の牛乳瓶が稀にあったとの説明と同時に放映された。
- ② 東京新聞 首都圏「ほとなび」に牛乳博物館の見学情報が掲載された。(11月)  
東京新聞朝刊の首都圏情報で親子で学べる「親子でぶらり」のコーナーに牛乳博物館が掲載され、見学者(川越市保健所管内栄養士研究会様)の見学ツアーに同行した様子や見学者の感想も掲載された。
- ③ 中国三河市の教育交流考察団が古河市を訪問し、牛乳博物館を見学した。(11月)  
古河市と国際友好交流都市協定を交わしている中国河北省三河市の教育交流考察団12名が牛乳博物館を興味深く見学された。
- ④ はとバス「早春の日帰り社会見学バス旅行」が企画実施された。(1月)  
昨年のはとバスツアーが好評だったので1月に再度実施された。7回のツアーはいずれも満席で好評であった為、はとバスより今後の企画継続の要請があった。
- ⑤ 雑誌「歴史REAL: 敗者の明治維新」に明治時代の食に関して展示物の記事が記載された。(2月)  
株式会社洋泉社が発行している歴史雑誌に博物館所蔵のブリキ製の五勺牛乳缶が記事として掲載された。
- ⑥ デイリージャパン専門誌の増刊号に牛乳博物館の記事が大きく記載された。(2月)  
雑誌の連載企画「シリーズ／行ってみました！」に(世界中の牛乳の歴史に触れる)というテーマで牛乳博物館が大きく紹介されました。(A4×4頁)
- ⑦ 日本テレビ番組「世界一受けたい授業」で牛乳博物館所蔵の展示物が紹介される。(2月)  
日本テレビの人気番組「世界で一番受けたい授業」でブリキ製の五勺牛乳缶が牛乳の歴史とともに紹介された。
- ⑧ 「ミルク・一万年の会」の会員が牛乳博物館を見学。  
全国に会員を持つ「ミルク・一万年の会」から37人の会員が牛乳博物館を見学した。  
日本酪農乳業史研究会の矢沢好幸先生が牛乳博物館の案内と説明をされた。

## 2)資産の収集

- ① 乳業関係の書籍を全国酪農協会より収集。(10月)
- ② 茨城県水戸市徳川牧場(徳川好子様)より、ホルスタイン種乳牛の乳歯を寄贈される。  
牛乳博物館にて展示。(12月)

## 3)資産の分析

- ① 資産の整理及び登録
- ② 陳列方の改善
- ③ 認識の啓蒙(ホームページ・パンフレット等)の分析と実施。

## 3. 管理部門

### 1)理事会、評議委員会の開催

- ・ 平成29年 5月15日 第1回理事会開催
- ・ 平成29年 5月29日 第1回評議員会開催
- ・ 平成30年 3月13日 第2回理事会開催

### 2)予算案の策定

- ・平成30年度の事業計画及び予算案を策定する。

以 上

